

國家非常時に際し

青年の自力更正策

石城郡下五ヶ所に

世界館連勝 世界館チームは左記の如く各チ

石城聯合青年團にては國家非常時に際し自力更正を要する諸案件實施の爲め左記の如く郡下五ヶ所に會合を催す事となつたと

- (十月十六日)植田小學校
- (十七日)小名濱小學校
- (十八日)平第三小學校
- (十九日)勿來、四倉兩小學校

世界館連勝

- 館チームは左記の如く各チ
- 勝意氣軒昂たるものがある
- (廿日)第二校職員對九A
- (廿一日)第一校職員對
- 八一五(廿二日)白銀町對
- 一〇

小麥増殖の

指導員が決定

既報石城郡に於ける小麥増殖實地指導員に就いては郡農會及び縣農會に於いて詮衝中の處今回左記の如く決定を見た

- (平窪)矢吹初彌 松崎忠吾(上小川組合村)木村熊吉 松本房之(川前)永山德壽 矢内安藏(大野)木村理吉 西山徳一 鈴木虎之助(四倉)多島一 佐藤倅司(大野)西山藤助 古市良平 酒井銀平(草野)渡邊三之助 小島喜久衛 江尻伊勢次郎(神谷)中根初太郎 鈴木秀明(澤渡)田子辰雄 大竹輝彦 藁谷伊平治(赤戸)松崎太一 鈴木己之吉

磐中對平商

定期野球戦

夫々陣容整ふ

磐城中等學校對平商業學校第二定期野球戦は來月下旬磐中グラウンドに於て行ふ事になり兩校共猛練習を開始したが新メンパーは左の如くである

- △磐中 (投手)石坂、杉浦 (捕手)杉浦、阿部(一壘)田中(二壘)萩野(三壘)金
- 成久(遊)小井戸(左)由良(中)金成金(右)桃澤
- △平商 (投手)赤坂、佐々木(捕手)渡邊、森(一壘)菅原、沼田(二壘)佐々木阿部(三壘)森、田口(遊)宮本(左)日野(中)鈴木(右)山崎

磐女の戦績

香しからず

石島嬢が一等の榮冠 縣下大會の結果

既報昨日安積高女グラウンドに於て開かれた縣下女子中等學校体育大會に出場した磐城高等女學校体育部の戦績は三種競技の島トミ子が一等の榮冠を得たのみで

他は振はず籠球二勝一敗一引分で庭球は昨日の戦績A組三勝、B組三勝一敗、排球は二勝一敗で本日も引續き鎗を削つて居る (五十米)七等四家ヨシ

津彦夫 金成鎌次(山田) 下山田丑藏 大河内邦政 下山田一雄 植田 鈴木平次 古和口齊 古川權左衛門 阿部福榮(渡邊)安藤尾之吉 蛭田高知(泉) 志賀澤之介 三戸良治 吉田透

訓盲院不出場

訓盲院にては郡山市麓山公園グラウンドに行はれる縣下盲學校生徒陸上競技は都合により生徒を出席せしめぬ事になつた

(百米)六等加藤菊枝(四百リレー)七等四家、加藤、吉田、赤塚(走巾)四等赤塚チヨ(走高)五等弓野トク(ボールスロー)六等林千代(三種)一等石島トミ

平百面鏡

伸好堂と

新開店

平町極小路丹番地コマツヤ書店跡に伸好堂と云ふ本屋さんが開業した、店主は關内仁平君、新刊圖書や雜誌、文房具、樂器類等勉強懇切を旨としお客の御満足を得る事に努力する由

金の買占

東京商店進出

金の値上りと共に金買商人が盛んに活躍して居るが東京の大手筋である丸り商店が平町に臨時出張所を置いて盛んに買占めて居る、本據は平劇場跡の會津屋旅館御一報次第社員が參上する

錦水辨當

安いと評判

江戸前の鳥料理でメキメキと名を賣つた田町末廣東隣りの「錦水」は体裁のよい塗り箱辨當が内容豊富で一本卅銭は安いといふので専ら評判だがこれからの散策シーズンには一層腕によりをかけて美味を盛るとの事

カフェー世界

電話番號變更

新開業ながら美人揃ひで感じの好い聚樂館隣の「カフェー世界」の電話番號が「四十六番」と變更された

時事取次記念、平町大町新聞取次磐城通信社にては時事新聞の取次を開始してから滿廿五週年になるといふので昨日聚樂館に讀者慰安會を催し福引抽籤等あつて盛況を呈した

平町人事

- △古鍛冶町三八 高野儀平 氏長男孝一
- △四軒町一九 藁谷藤市氏長女智子
- △石城郡錦村字南城一九 永笠政肇(三三)氏平町杉平二九 小谷ノブ(二八)
- △田町三九 當時東京市下谷區二長町五ノ十五 網次郎三女田中ヤイ子(二ツ)

内小兒科・花柳病科
藤沼醫院
入院應需
平町電話七〇五番
町屋五番

晩秋蠶は強調子

六十圓豫想さる

となり昨廿三日の如き降雨等の関係もあつて取引は僅かに十五貫(四十六圓四十錢)一口と云ふ有様であるが現在各養蠶家は晩秋養の掃立に全力を注ぎ現在の降雨期が終ると同時に續いて晩秋蠶の取引を見る事になるので降雨の永引くのを最も恐れられて居るが本年の晩秋蠶相場は最低四十圓、最高六十圓位と豫想されて昨年の三四十圓位と比較する時は實に非常な好調子であると

乗換時間を利用し

平田少將の講演會

▽……平町郷軍が交渉中

滿洲事變に際して若松廿九聯隊長として奮戦せられた平田少將は來月上旬を期して全縣下に講演旅行をなして來月四日午前十時三十分平驛着列車にて來平直ちに午後一時五十分下り列車に乗替へて仙臺に向ふ豫定である爲め在郷軍人分會では此の時間を利用して同少將の講演會を催すべく交渉中である

後任村長

自然消滅

野木村長出勤

石城郡内郷村長野木龜之助氏は今春より腦溢血の爲め自宅にて療養中の處殆んど全快したので去る廿三日より役場に出勤し執務する事になつたので後任村長問題は自然消滅となつた

四倉市場の秋蠶取引は最近益々荷薄

トモホールで明日五日午後一時から開催される會費は夕食付で一圓、賞品は一等十圓の商品券を始め十五等まであると本日迄の申込者七十餘名に達して居ると

結核消毒

器具を平署に

平警察署衛生課では本日から署内に二臺の結核性病菌消毒機を備付けたれば管内の貧困者にして結核菌の消毒を完全に出来ぬ者に對し貸與し病菌の傳波を豫防する爲めであつて貸與希望者は區長に申出でられたい

教員檢定

受験者數

百四十二名に

既報來る二十六日より五日間平第一小學校に於て執行される本縣小學校員檢定試験の受験者數は左記の如く合計百四十二名であるが當日は縣屬武藤丑美氏が出張される

四家病訓導

磐女校から

平第二小學校元訓導四家安男氏の薫陶を受けた事のあ

舌端火を吐く

磐中の辯論大會 出場者演題決定

既報廿七日午前九時より開催される磐城中學校の秋期辯論大會プログラムは左の如くである

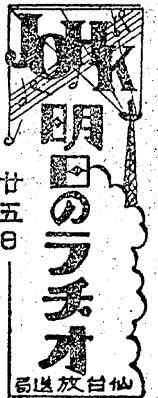
(開會の辭) 五年國玉喜輝 (挨拶) 部長山名先生 (我が國の短所) 一年藤田晋一 (師の恩) 一年石崎正己 (新日本の建設) 一年根本正男 (飛躍せよ滿洲) (一年湊徹郎(孝行) 一年吉田都築(心持を快活に) 一年高野國一(眞の英雄たれ)

海岸線の

麻雀大會

マルトモで

海岸線麻雀大會は高木喬君のいなき新報社主催でマル



明日のラジオ

今夜は北東の風 小雨模様明日は北東の風曇り勝ち次第によくなりませう

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間 ラヂオスケッチ「或る日の寮生活」第二高等學校 明善寮生
後七、三〇 講演 小林操祭外
後八、〇〇 新日本音楽
後八、三〇 詩吟 秋元南
後八、五〇 ソプラノ獨唱 京都岡崎公會堂より中繼

明日の部

前六、三〇 佛教講座「原人論」梅檀中學々長 櫻井 前七、〇〇 彼岸會法要 曹洞宗大本山永平寺より

磐 崎

助役昇進派が一齊に退場

村長派のみで留任決定

既報石城郡磐崎村では村長後任問題で村長酒井勝雄氏の留任派と酒井賢吾氏の助役昇進派とに分れ暗闘を演じて居たが去る廿一日村會を開いた結果助役派村議七名は勝味爲しと見て一齊に退場した爲め村長派村議十名が満場一致を以つて酒井勝雄氏の留任を決定した

制服一定

保護者協議

既報平第二小學校にては生徒の正服一定に關する保護者會は來る二十八日午後三時より開かれる

食客と逃走

石城郡磐崎村字藤原居住日雇業大和田留藏(四)の妻ユキ(三)は本月一日より同家に寄食して居た東京本所區緑町土木請負業金澤道之(三)と去る廿一日午後六時頃無断家出をなしたので本村大和田より平署に兩名の搜索方を題出た

回求人

△ミシシ見習 十七才 尋

回求人

△大工職 三十七才 尋四 修 給料面談(新潟縣某)

回求人

△車力 五十才 尋四修 給料面談(平町某)

回求人

△女中 四十五才 無學 給料面談(大野村某)

回求人

△コック 二十六才 高卒 給料面談(相馬郡某)

回求人

△土工 四十三才 高一 修 給料面談(三重縣某)

回求人

△大工職 三十七才 尋四 修 給料面談(新潟縣某)



【禁轉載上演及映畫】
悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第一百五十九席

女流劍客里見靜枝

靜技の噂に熱中

千葉周作先生の道場で代
稽古をいたす者は東海林辨
吉、海保半平、それに平手
造酒、周作先生も教へるが
これは諸侯へ出教授をいた
すこととして日々道場には出
ません

造「さア參れ、俺が教へて
造る」

と造酒は竹刀を持つてそれ
に居る門人を見渡す、一同
は造酒に稽古をして貰ふと
きなくさいほど打たれるそ
れが辛い、それゆえお願ひ
申すと云つて出る者も無い
造「これへ參れ、齊藤これ
へ出なさい」

齊「お手柔に教へて頂きた
いもので」

造「弱い音を出すナ、食べ
た物を消化させる爲に竹刀
を取るわけではないぞ、事
あつた時の役に立てる爲め
然らば荒い稽古をいたさね
ば其術を會得する事はなる
まい、宮本武藏は一代に廿
六度試合を致した、相手は
皆斯道の達人である、其時
分は竹刀などは無いぞ、さ
すれば木劍を用ひた、それ
を獲物として勝負を争ふ、
打たれた所によつては一本
の下に命をすてる、それゆ

を稽古に意氣が入つて居る
これに鍛へ上げた故名人に
もなれる、さアその覺悟に
て竹刀を取れソレ行くぞ御
面……」

した、あゝ其處にお出なさ
るか、お胴だ——」
造「其處には居らぬぞ」
中「成る程お面だ——」
打を入れる間には居所を變
へる、中村は竹刀を持つて
道場を駆廻つて居たが次第
々々に疲勞してヒョロ／＼
いたし、ドーンと羽目に當
り



は出來ぬ、爲しくづしに申
します
造「さア、代つて——二
三人打掛つて打つて參れ、
オット、其處には人が居ら
ぬぞ、コレ中村、平手は此
處に居るぞ」
中「お留守居見舞に上りま

す、然し美しい女を見れば
美人と思ふは當然
○「オイ、今度來た小間
使を見たか」
△「見たよ、先生が大層愛
してゐる、又あの女は變り
者でこの道場で稽古が始ま
ると來ては見てゐる、熱と

目を着けてゐるが不思議だ
ナ」
○「我々の中にてあの女の
心に叶ひし男があるに違ひ
ない、さなくば毎日稽古を
見てゐるわけはあるまい」
△「それは尤もだ、そこで
あの女が想ひをみしは抑も
誰か」
○「それだ大いに此事に就
いては拙者も頭を痛めてゐ
る、然し先づこの人物とい
ふ當りは大低つてゐる」
△「フーンさうか、貴公は
才子だな、早くも彼の意中
の人を看破いたしたとは敬
服の至り、ところであの女
は一體何人の娘だ」
○「拙者とても深くは知ら
ぬが東條一堂先生より頼ま
れて當家にて召使ひ居る、
親は上總とか安房とか物持
で田地の二百石もあり又漁
師を雇ふて魚を捕らせてこ
れを江戸に送り年々千兩以
上の利益を占めて居るさう
だ、大百姓兼漁師の親方、
網ばかりが五十張もあり船
は百艘もある、さう云ふわ
けで腹の立つほど金が儲か
る、又しても千兩殖えたか
あゝ穢ららしい、小判は目
障りだ、ピカ／＼光つて目
に毒だ云つて土藏の中に
投込む、是ほどの金持のこ
とで一人娘の婿について
あれかこれかとその人を選
む」

い」
○「左様、さういふわけで
江戸にあの女が出て來たは
婿を尋ねる爲め、その婿と
するは町人百姓は好ましく
ない、先づが侍よからうと
悠ういふ事で當家に奉公し
た、それゆゑ稽古が始まる
と道場に來てはあれかこれ
かと婿になるべき人物を選
む」
△「シテその想ひついた者
は誰だ」
○「それは判つてゐるであ
らう、風采もよろしく加之
才子で立派な人物が此處に
居る」
△「それは誰だ」
○「俺だ」
と鼻に指を當た。

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病
病林 腸胃病 腸虫病 十二指腸
村松 腸胃病 胃性
院醫科 町南平
七〇一話電

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
電六三〇番
（必次第規則書進呈）

りん病 永らく悩む人の福音
天下の名湯別府温泉で出來た無効返金責任藥
別府林
全國知名新聞 こんなヨイクスリを未だ知いな
雑誌 推奨 い方がありませうか
右は岩里家古來よりの家傳秘法藥にして男女血らし
慢性淋病、こしけ、渦濁の病みは不思議に止り連服
するも絶對胃腸傷害なき各藥であります。
尚ほ此の藥は責任速効藥で二日内服して効なき時は
殘藥引換に全部異議なく返金します。
論より證據服藥した人は皆全快喜んで居ります。慢
性、悪性の人は七日以上服差して下さい。
美本淋病治療書無代進呈 此の新聞各記入申込者に
付前金申込者には送料無料、新品送藥す。
代金引換廿三錢手数料金納の事。
藥價 急性用(黒箱) 一週分 參圓
慢性用(赤箱) 一週分 五圓
平町古鍛冶町一〇
特約一 手販賣 **阿康藥舖**
縣社ノ下(電話四四番)

漆器は**共**が専門
品質の正確と!!!
値段の破格と!!!
在庫品の豊富と!!!
懸命の奉仕は!!!
弊店のモットー!!!
各國産漆器専門卸小賣
丸共共榮漆器店
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
記念表彰品。恩賜賞品。御注文應調製
進物贈答品。賞品景品類。
店員募集 (十三才ヨリ二十二才マデ)

外科 専門線 X
上田外科病院
平町南町
電話一二九番